

2025年11月21日

九州電力株式会社

モニタリングポスト等の指示値上昇に伴う調査結果について

モニタリングポスト及び放水口モニタの指示値（1時間値）が、平常の変動範囲を超えた日における廃棄物の放出状況について、以下のとおり調査した。

1. 発生日

- ・7月：12日、18日
- ・8月：9日※、10日※、11日※
- ・9月：8日、14日※、18日、23日

なお、※印を付した日は、指示値が降雨時の変動範囲を超えた日を示す。

2. 調査内容

（1）発生日における廃棄物の放出状況は、以下のとおりであった。

発生日	気体廃棄物放出状況	液体廃棄物放出状況
7/12	3号機Dガスサージタンク 3号機体積制御タンク	放出なし
7/18	3号機Bガスサージタンク 3号機体積制御タンク	2号機C廃液蒸りゅう水タンク

発生日	気体廃棄物放出状況	液体廃棄物放出状況
8/9	3号機Cガスサージタンク 3号機体積制御タンク	3／4号機A廃液蒸りゅう水タンク
8/10	3号機Cガスサージタンク	放出なし
8/11	3号機Cガスサージタンク 3号機Dガスサージタンク	放出なし

発生日	気体廃棄物放出状況	液体廃棄物放出状況
9/8	放出なし	2号機A廃液蒸りゅう水タンク 3／4号機B洗浄排水モニタタンク
9/14	3号機体積制御タンク	放出なし
9/18	3号機格納容器減圧	放出なし
9/23	3号機Cガスサージタンク	3／4号機B廃液蒸りゅう水タンク

- (2) 発生日における以下の廃棄物放出に関わるモニタの記録を確認した。
その結果、いずれのモニタも放出に伴う有意な変化は認められなかった。

	モニタ名称	検出器種類
気体廃棄物 関係モニタ	1号機補助建屋排気筒ガスモニタ	プラスチックシンチレーション検出器
	1号機格納容器排気筒ガスモニタ	〃
	2号機補助建屋排気筒ガスモニタ	〃
	2号機格納容器排気筒ガスモニタ	〃
	3号機排気筒ガスモニタ	〃
	4号機排気筒ガスモニタ	〃
	雑固体焼却炉建屋換気空調排気ガスモニタ	〃
	雑固体焼却炉排ガスガスモニタ	〃
	廃棄物処理建屋排気ガスモニタ	〃
	燃焼式雑固体廃棄物減容処理設備排気ガスモニタ	〃
	雑固体熔融処理建屋排気ガスモニタ	〃
液体廃棄物 関係モニタ	1号機廃棄物処理設備排水モニタ	NaI (Tl) シンチレーション検出器
	2号機廃棄物処理設備排水モニタ	〃
	3 / 4号機廃棄物処理設備排水モニタ	〃

3. 調査結果

以上のことから、気体廃棄物及び液体廃棄物の放出はあったが、法令に定める濃度限度を十分に下回るように管理された放出であり、モニタリングポスト及び放水口モニタの指示値に影響を与えるものではなかった。

以 上

①

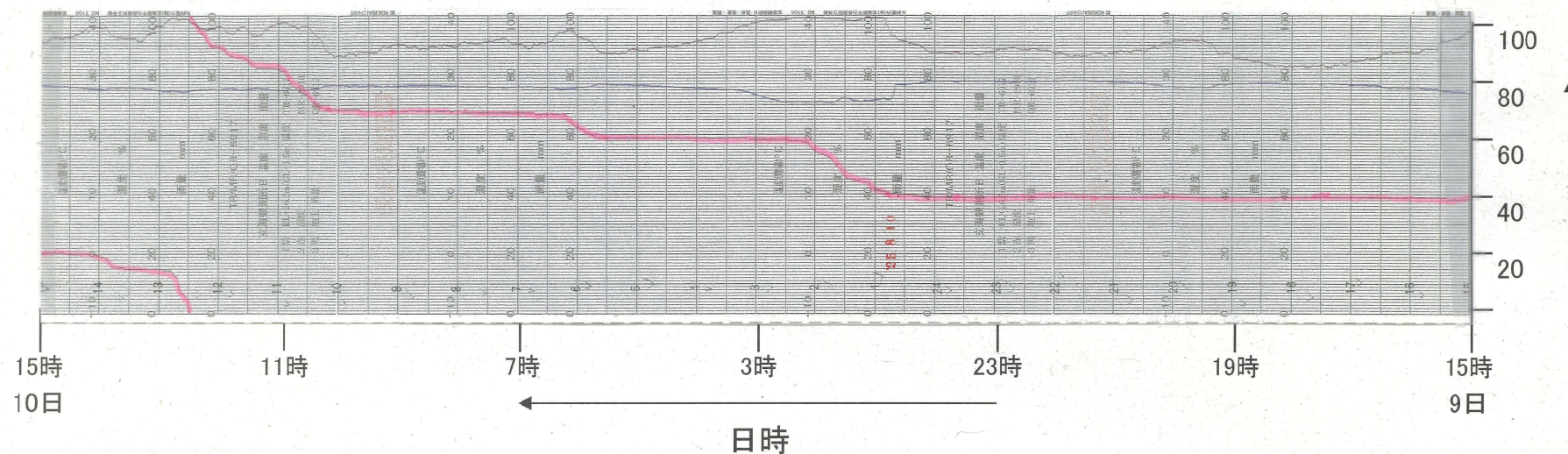
2025年8月9日 15時

～

2025年8月10日 15時

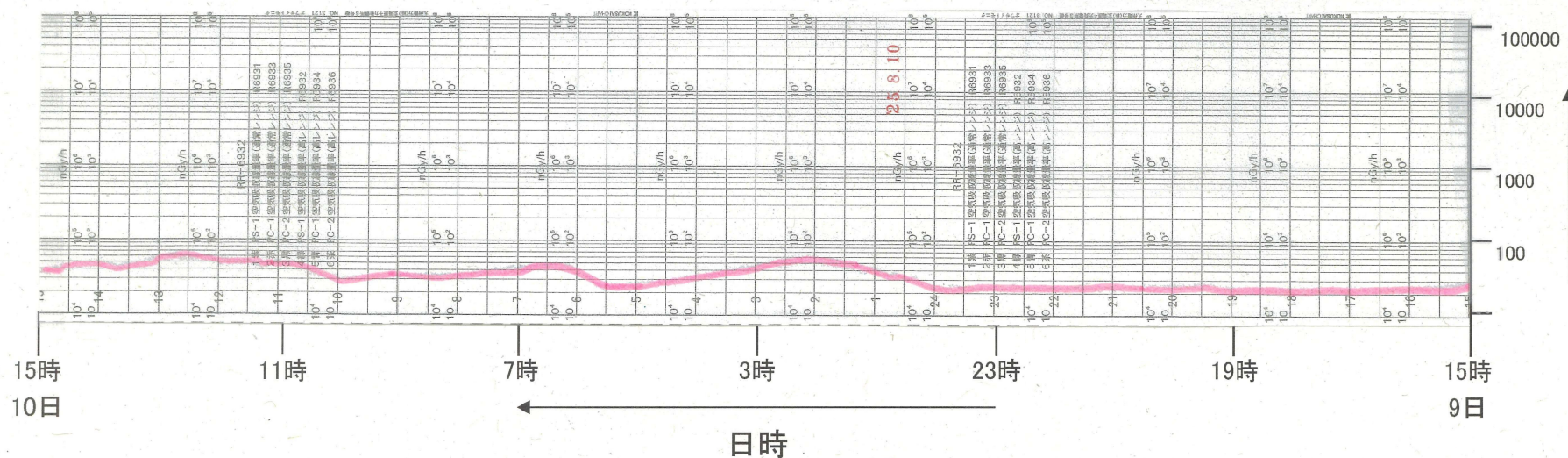
発電所雨量計

雨量(mm)



周辺放射線線量計

空間線量率(nGy/h)



②

2025年8月9日 15時

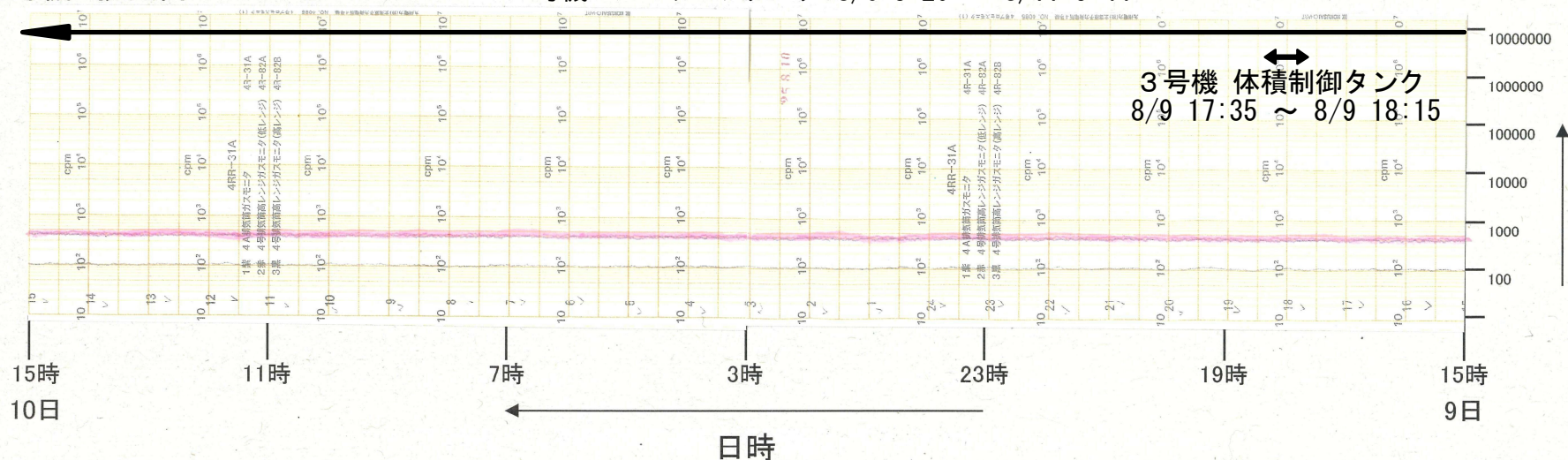
～

2025年8月10日 15時

4号機A排気筒ガスモニタ

3号機Cガスサージタンク 8/6 3:20 ~ 8/11 5:44

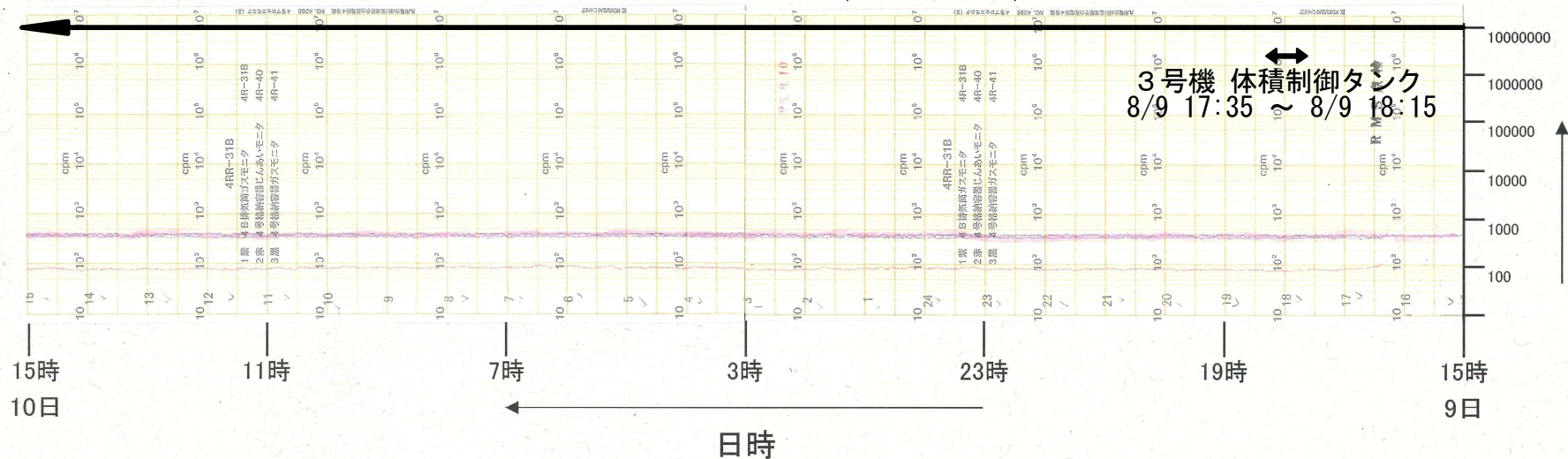
排気筒ガスモニタ(cpm)



4号機B排気筒ガスモニタ

3号機Cガスサージタンク 8/6 3:20 ~ 8/11 5:44

排気筒ガスモニタ(cpm)



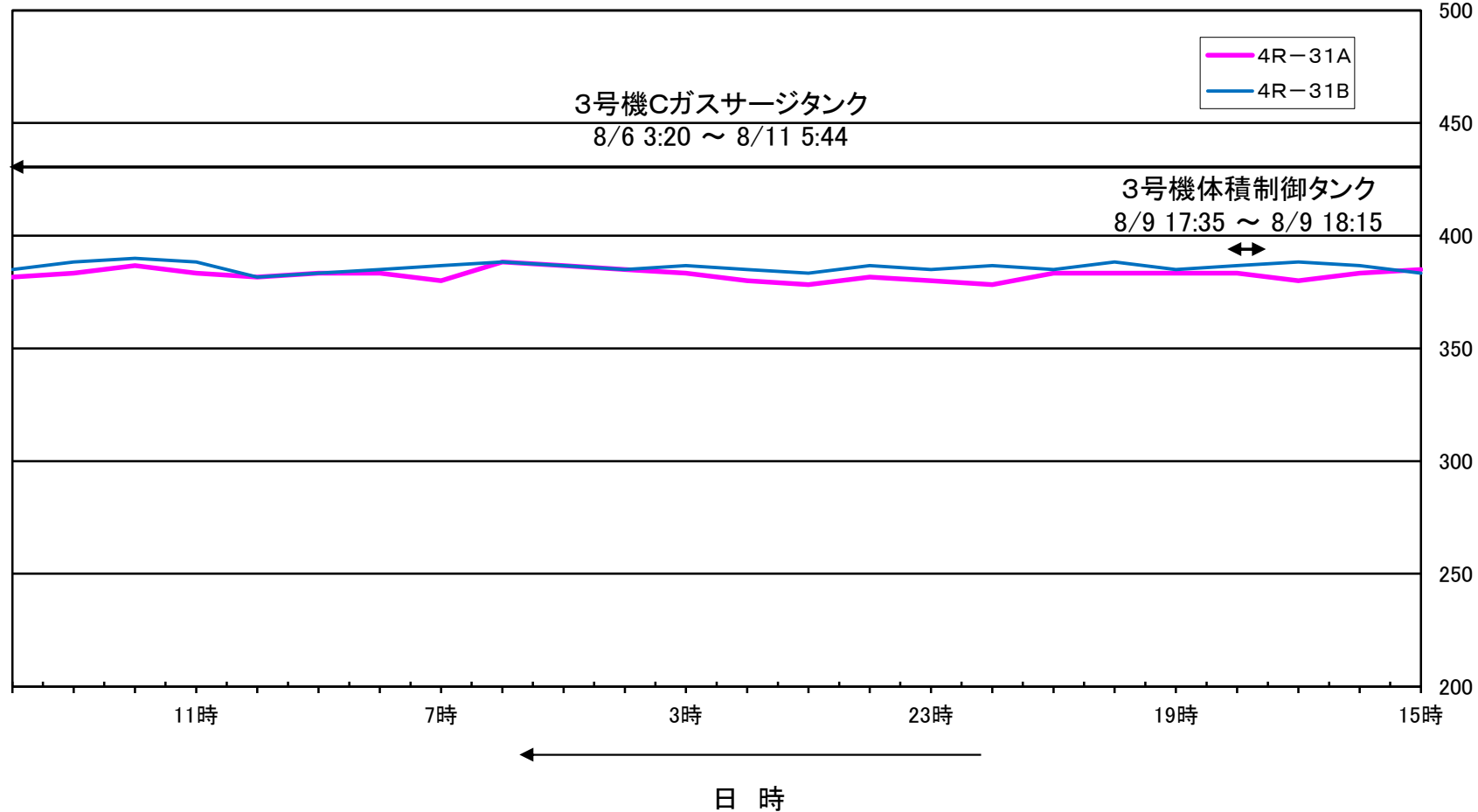
モニタ出力から転記

2025年8月9日 15時 ~ 2025年8月10日 14時

参考

4号機排気筒ガスモニタ(4R-31A, B)

ガスモニタ(cpm)



周辺環境放射能調査結果における
海水中のトリチウム平常の変動範囲超過について

周辺環境放射能調査において、海水（表層水（放水口付近））のトリチウム濃度の測定結果が、平常の変動範囲を超えたことから、当該日の廃棄物の放出状況について以下のとおり確認した。

1. 海水（表層水（放水口 [EL. -13.12m] 付近））試料の採取日時
・2025 年 7 月 29 日 10 時 19 分

2. 調査内容

（1）試料採取の前 1 日間における液体廃棄物の放出状況は、以下のとおりであった。

○3 / 4 号機B洗浄排水モニタタンク

放出日時	—	7 月 28 日 18:01～19:42
放出量	m ³	19.8
トリチウム濃度	Bq/cm ³	ND（トリチウム以外の核種：ND）

○3 / 4 号機A廃液蒸りゅう水タンク

放出日時	—	7 月 29 日 0:10～6:14
放出量	m ³	168.8
トリチウム濃度※	Bq/cm ³	6,800（トリチウム以外の核種：ND）

※：放出時は約 10,000 倍希釈（タンクの放出流量 27.9（m³/h）、希釈流量 288,000（m³/h）し、放出時のトリチウム濃度は、約 660（Bq/L）となる。

（2）放出日における当該液体廃棄物放出に関わるモニタの記録を確認した。放出に伴うトリチウム以外の核種（γ線核種）におけるモニタの有意な変化は認められなかった。

	モニタ名称	検出器種類
液体廃棄物 関係モニタ	3 / 4 号機廃棄物処理設備排水モニタ	NaI（Tl）シンチレーション検出器
	3 号放水口モニタ	〃
	4 号放水口モニタ	〃

3. 評価結果

以上のことから、試料採取日において上記のとおり発電所から液体廃棄物を放出（管理された放出であり、法令等で定める基準以下）しており、その影響により平常の変動範囲を超えたものと考えられる。

以 上

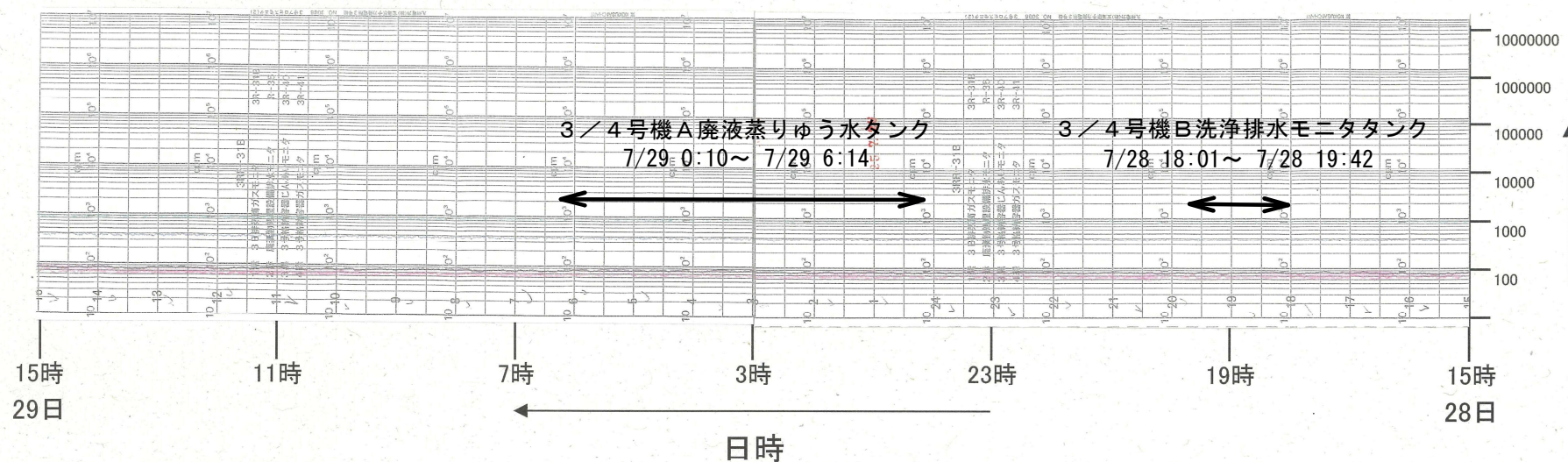
2025年7月28日 15時

～

2025年7月29日 15時

廃棄物処理設備排水モニタ

排水モニタ(cpm)



2025年7月28日 15時 ~ 2025年7月29日 15時

3, 4号機 放水口モニタ (cpm)

